

令和7年度富士見市国民健康保険の財政運営について（付属資料）

1 各案の詳細（当日配布分）

- 世帯の所得段階別の平均年税額（月割前）（上段は1世帯当たり、下段は1人当たり）

世帯の 所得段階	世帯数 被保険者数	現行	案A	案B	案C
0円（未申告 世帯含む）	4,395世帯	21,800円	27,100円	26,500円	26,100円
	5,095人	18,400円	22,800円	22,300円	22,000円
1～ 430,000円	1,438世帯	19,100円	23,700円	23,200円	22,800円
	1,827人	14,800円	18,300円	17,900円	17,600円
430,001～ 600,000円	563世帯	38,700円	46,600円	45,900円	45,300円
	730人	30,400円	36,600円	36,100円	35,600円
600,001～ 800,000円	570世帯	58,100円	68,500円	67,800円	66,900円
	764人	43,000円	50,600円	50,100円	49,400円
800,001～ 1,000,000円	590世帯	76,600円	89,600円	88,900円	87,600円
	795人	54,100円	63,300円	62,800円	61,900円
1,000,001～ 1,500,000円	1,583世帯	111,100円	129,200円	128,300円	126,500円
	2,279人	78,500円	91,300円	90,600円	89,400円
1,500,001～ 2,000,000円	1,111世帯	155,500円	178,900円	178,100円	175,600円
	1,657人	107,700円	123,900円	123,300円	121,600円
2,000,001～ 2,500,000円	872世帯	201,500円	230,200円	229,500円	226,300円
	1,416人	131,800円	150,700円	150,200円	148,100円
2,500,001～ 3,000,000円	597世帯	230,300円	262,000円	261,500円	257,800円
	1,034人	151,100円	171,800円	171,500円	169,100円
3,000,001～ 4,000,000円	693世帯	274,700円	311,300円	311,000円	306,700円
	1,254人	171,900円	194,700円	194,600円	191,800円
4,000,001～ 5,000,000円	382世帯	301,100円	340,600円	340,400円	335,700円
	773人	183,700円	207,800円	207,700円	204,800円
5,000,001～ 6,000,000円	202世帯	341,800円	385,500円	385,700円	380,300円
	445人	206,900円	233,400円	233,500円	230,200円
6,000,001～ 7,000,000円	127世帯	362,700円	408,600円	408,800円	403,100円
	265人	222,800円	251,000円	251,200円	247,700円
7,000,001円 ～	386世帯	510,400円	548,500円	548,800円	544,900円
	844人	308,100円	331,100円	331,200円	328,900円
合計	13,509世帯	143,100円	162,300円	161,800円	159,700円
	19,178人	102,100円	115,800円	115,400円	113,900円

※世帯数・被保険者数は令和6年7月1日時点の状況。

● 軽減区分別の平均年税額（月割前）（上段は1世帯当たり。下段は1人当たり）

軽減区分	世帯数 被保険者数	現行	案A	案B	案C
7割軽減	3,802世帯	16,700円	20,600円	20,200円	19,900円
	4,546人	13,800円	17,000円	16,700円	16,500円
5割軽減	1,539世帯	55,900円	66,200円	65,400円	64,500円
	2,383人	35,500円	42,100円	41,600円	41,000円
2割軽減	1,306世帯	107,400円	125,600円	124,500円	122,800円
	2,037人	67,200円	78,600円	77,900円	76,900円
軽減なし	6,862世帯	238,800円	268,600円	268,200円	264,900円
	10,212人	166,000円	186,700円	186,400円	184,100円
合計	13,509世帯	143,100円	162,300円	161,800円	159,700円
	19,178人	102,100円	115,800円	115,400円	113,900円

※世帯数・被保険者数は令和6年7月1日時点の令和6年度課税分の状況。

● 年税額のモデルケース

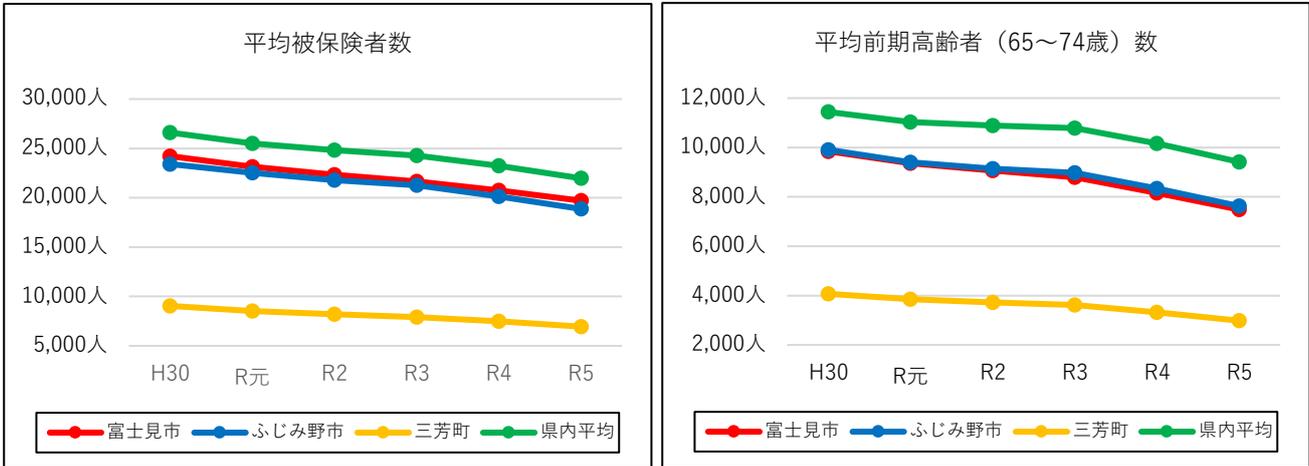
条件	現行	案A	案B	案C
①世帯主65歳1人 所得0円※7割軽減	11,100円	14,000円 (+2,900円)	13,600円 (+2,500円)	13,400円 (+2,300円)
②世帯主20歳1人 所得45万円※5割軽減	20,400円	25,400円 (+5,000円)	24,800円 (+4,400円)	24,500円 (+4,100円)
③夫婦65歳2人 所得140万円※2割軽減	147,300円	170,400円 (+23,100円) [+11,550円]	169,300円 (+22,000円) [+11,000円]	167,000円 (+19,700円) [+9,850円]
④40歳夫婦2人・子2人 所得276万円※軽減なし	422,400円	492,800円 (+70,400円) [+17,600円]	489,000円 (+66,600円) [+16,650円]	482,200円 (+59,800円) [+14,950円]

※[]内は1人当たり年税額の増額の額。

2 市 1 町・県内平均比較データ

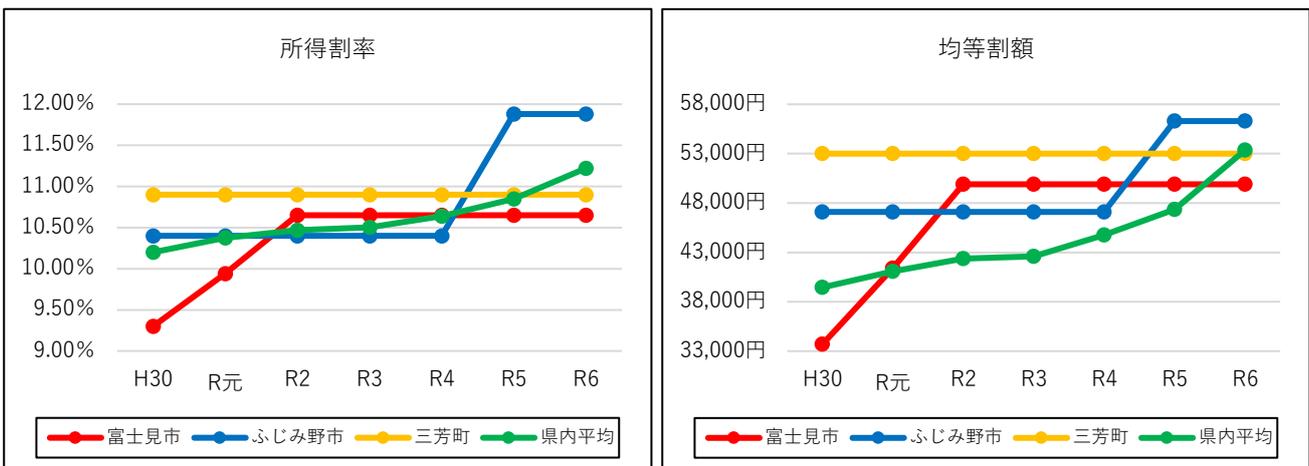
1 被保険者数

- 被保険者数は、団塊世代の後期高齢者医療制度への移行や、社会保険加入要件拡大の影響により全体的に減少し続けています（グラフの横軸は年度。以後同じ）。

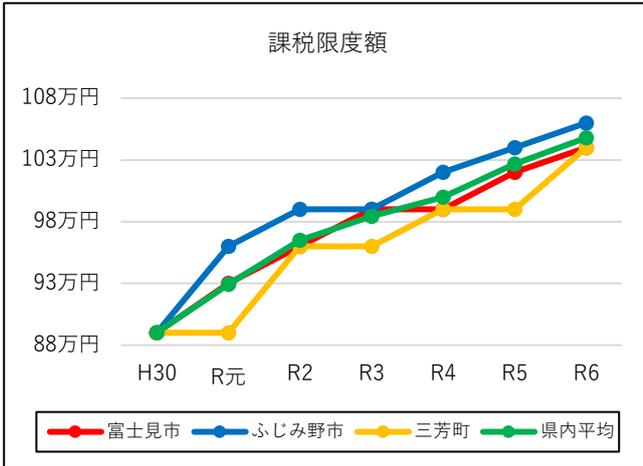


2 税率など

- 本市は平成 30 年度から令和 2 年度まで段階的に税率改定を行い、所得割率・均等割額を増やし、資産割率・平等割額を廃止しました。現在の本市の所得割率の順位は県内で 53 位、均等割額は 47 位です。
- ふじみ野市は平成 27 年度と令和 5 年度に、三芳町は平成 30 年度に税率改定を行いました。
- 県内平均は所得割額・均等割額ともに年々増加しています。令和 6 年度の本市における所得割率・均等割額は、共に県内平均以下となっています。

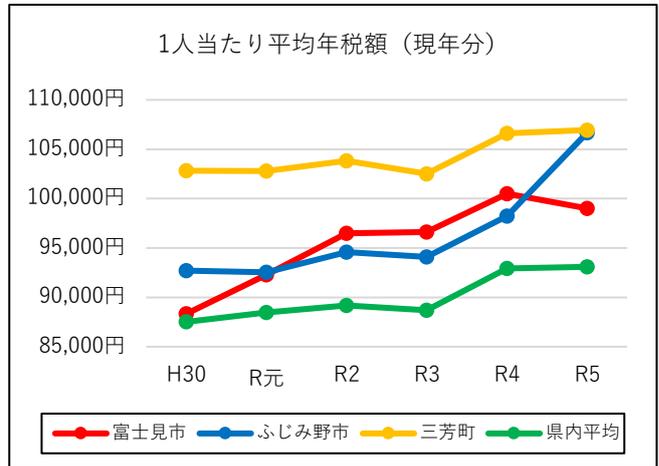
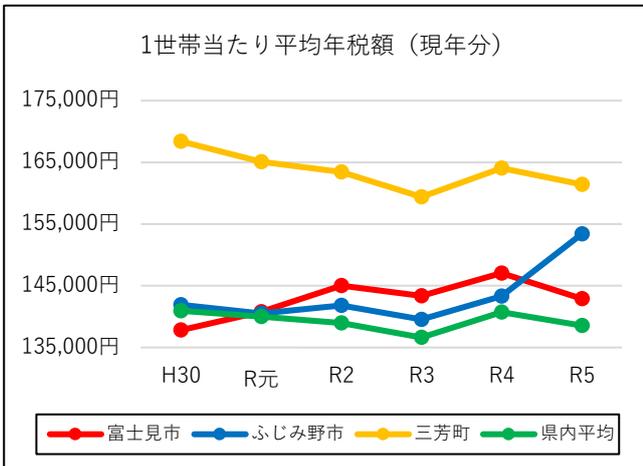


- 課税限度額は国の水準に合わせて、全体的に増加し続けています。



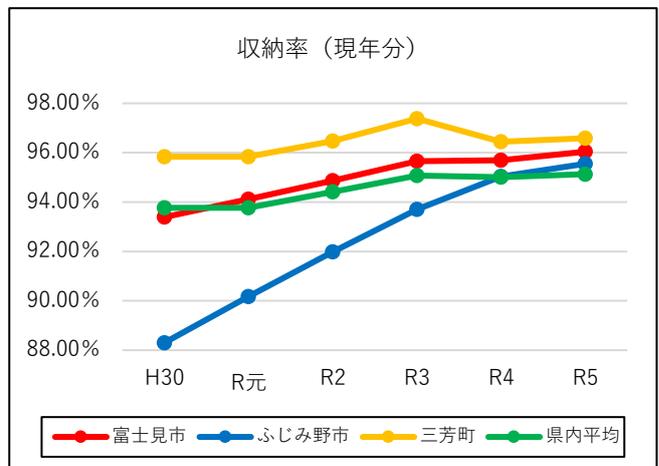
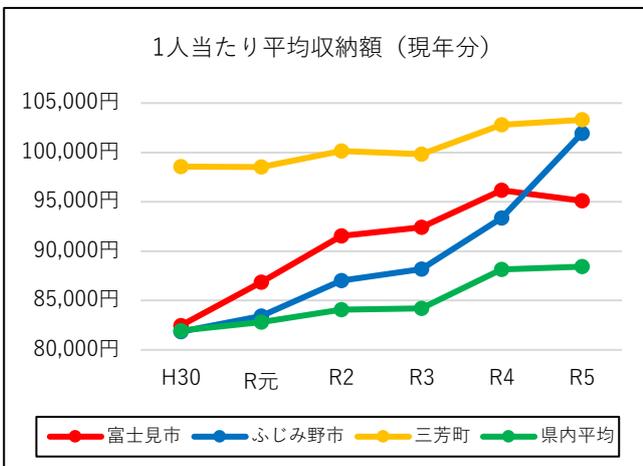
3 平均年税額

- 本市の現在の平均年税額は、2市1町で最も低い金額です。



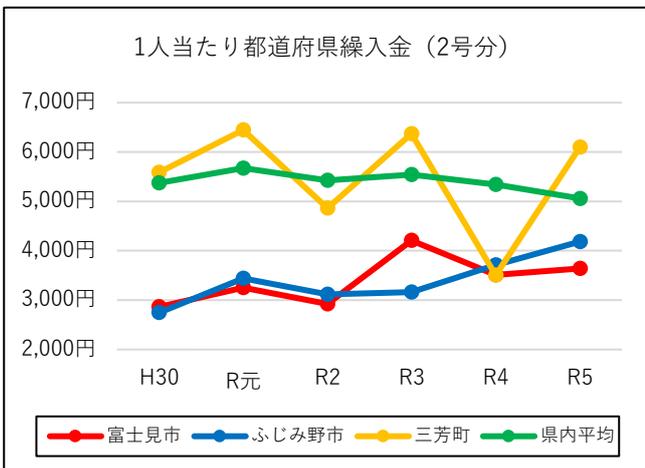
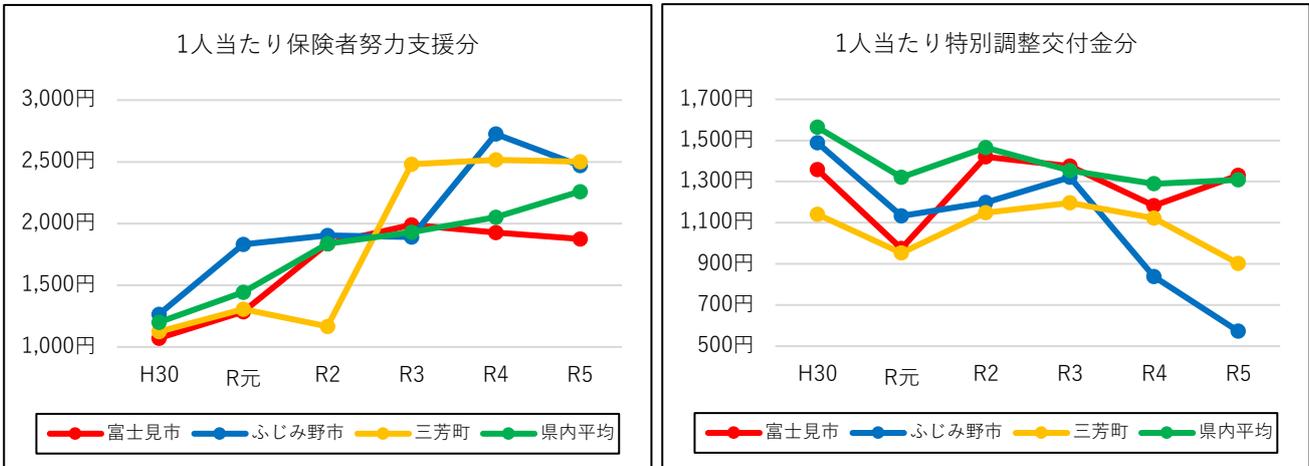
4 収納

- 現年分の1人当たり平均収納額・収納率は全体的に上昇傾向です。



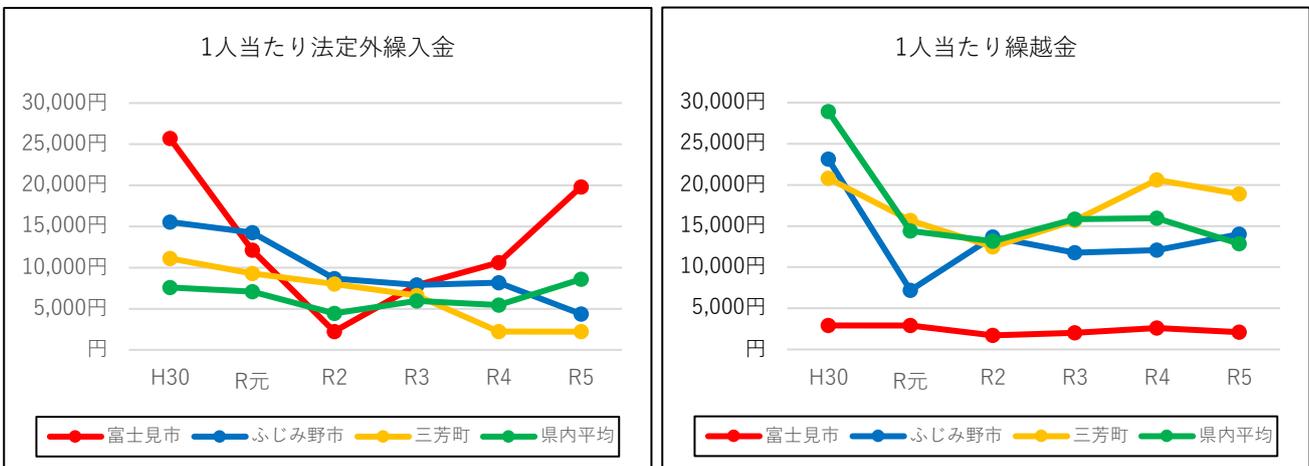
5 主な交付金

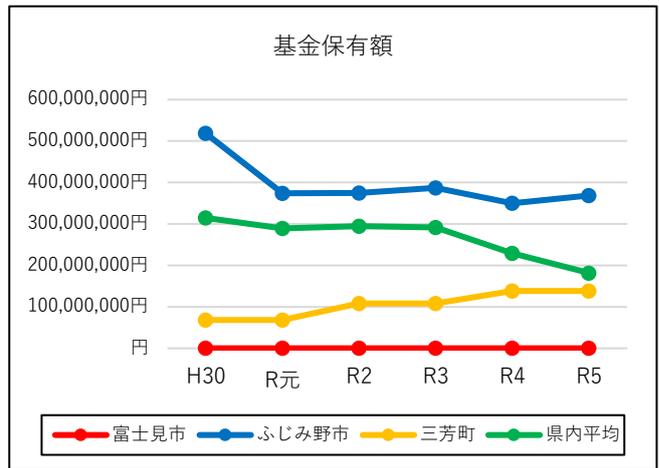
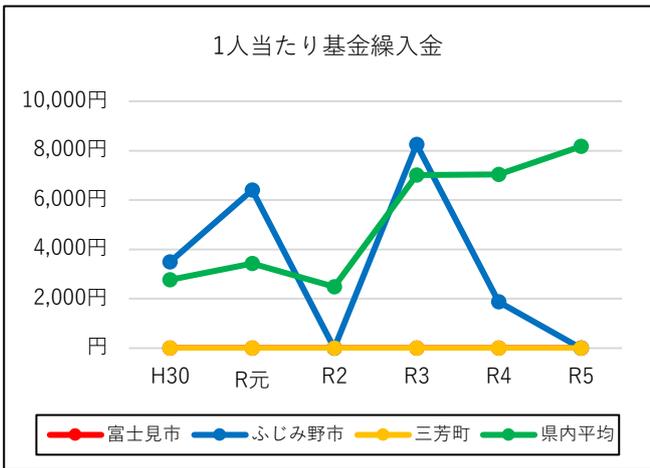
- 本市の1人当たり交付金は、特別調整交付金分は県内平均以上ですが、保険者努力支援分・都道府県繰入金（2号分）は2市1町で最も低い状況です。



6 法定外繰入金

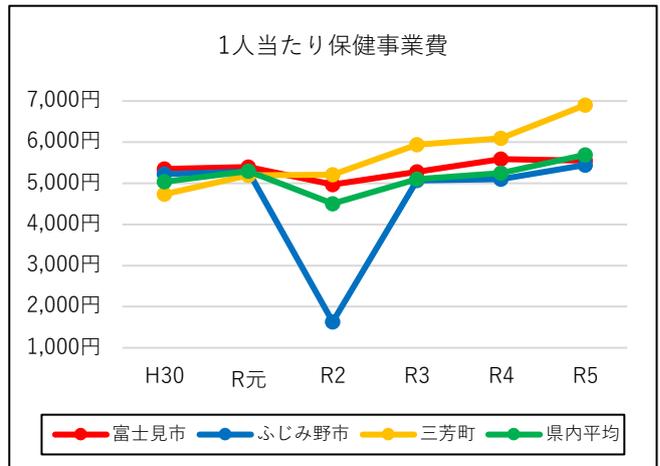
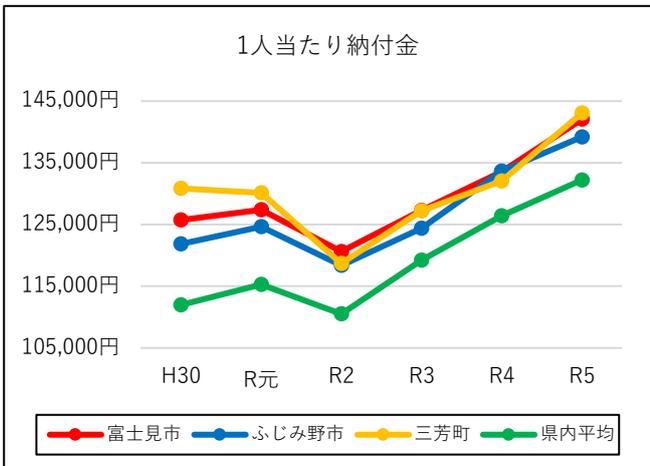
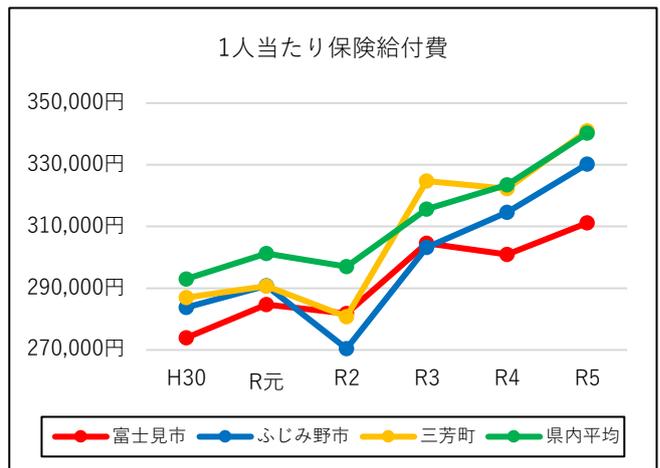
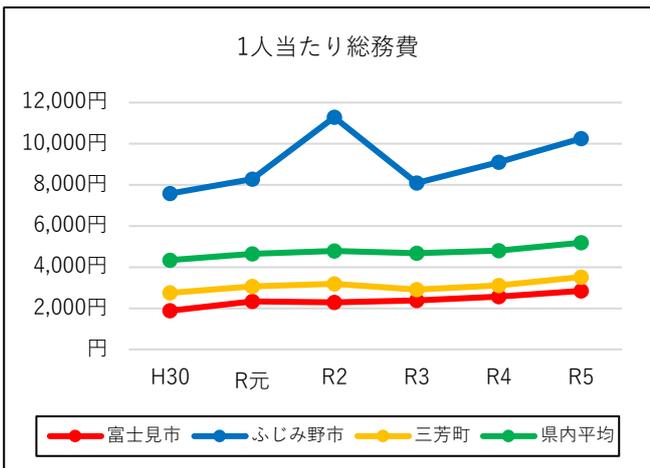
- 本市の1人当たり法定外繰入金は他と比べて増加傾向が甚だしいですが、その要因には本市の1人当たり繰越金と基金繰入金の低さが影響しています。

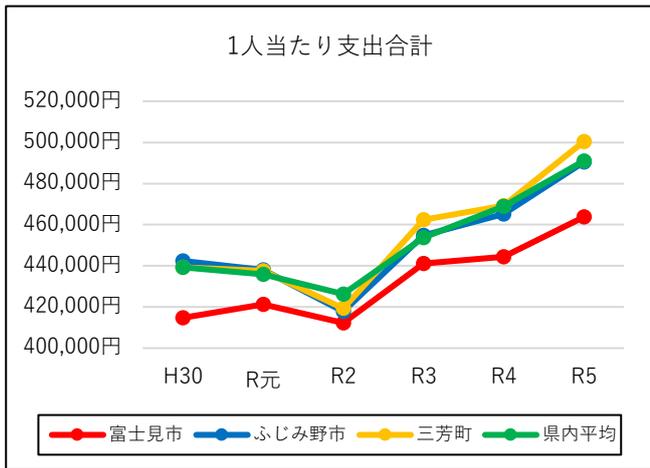




7 主な歳出

- 1人当たりの主な歳出は総務費・保険給付費・保健事業費とも低水準であり、他と比べてコンパクトな支出状況であると言えます。
- 1人当たりの納付金は高水準にありますが、これには本市の所得水準の高さが主に影響しています（令和6年度納付金算定時の本市の所得水準は県内11位）。





8 総括

- 以上のことから、他の市町村と比較した本市の財政運営の特徴は以下のとおりです。
 1. 支出額や前年度からの繰越金などが低水準で、財政上の無駄が少ない。
 2. 無駄が少ない分、赤字が発生した場合に頼れる歳入がなく、多額の法定外繰入金を投入せざるを得ない。
 3. 交付金の額や平均年税額などの自主財源が少ないため、高騰する納付金を賄うことが困難である。